

# 県政報告

愛知県議会議員 岡崎・幸田の課題に切り込みます!

# そのやま康男

ホームページ <http://www.sonoyama-yasuo.jp/>

2017 新春号

園山康男事務所 〒444-0005 岡崎市岡町字南屋敷17-1 電話 (0564) 64-1888 FAX (0564) 64-1887

討議資料



## 2017年のごあいさつ



皆様方におかれましてはご健勝にて2017年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

平素は私の活動に際し格別のご理解と真心のこもった温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。心より感謝を申し上げます。

さて、昨年は英国が国民投票によってEU離脱を選択し、米国の大統領選挙ではトランプ氏が次期大統領として選出されたり大きな変化の年であったと思います。その変化はそれぞれの国民が選択したことであり、そのことが良い方向に向かうのか、そうでない方向に向かうのか、我が国、本県、本市にどのような影響を与えるのかは今の段階ではわかりません。

しかし、変化は世の常であり、これを拒むことはできません。その変化の中で我々は的確に情報をつかみ、最良の答えを求めて柔軟に対応していかなければなりません。

特に本県はモノづくり王国として製造品出荷額約44兆円と全国1位で、2位神奈川の約18兆円に大差をつけています。名古屋港の総輸出額も11兆4717億円で1位、貿易黒字額や自動車輸出台数も日本一であり、まさに日本と世界を繋ぐ重要な土壌の産物です。

トランプ氏の攻撃的な言及は本県にとっても大きな問題であり、注視し対処していかなければならないと思います。(大村知事がトランプ氏の大統領

就任式に招待されました。愛知県のリーダーがこの機会に立ち会うというも何かの兆しでしょうか?)

また、本県においては、あいち航空ミュージアム整備、認知症対策オレンジタウン構想、大規模国際展示場整備、2020年ワールドロボットサミット開催、2026年アジア競技大会開催を目指し、その他、観光振興、地震防災対策、交通安全対策、三河中山間地域移住・定住促進、女性の活躍、雇用拡大、子育て支援、高齢者・障がい者福祉など様々な課題に対して取り組んでまいります。

最後に、これからも様々な分野の方とお話しさせていただく機会を逃さず、積極的に研究・提案する活動をしてまいります。常に全体の奉仕者として負託に応えなければならないことを肝に銘じ、県議会議員の活動をしていくことを皆様にお約束し、私の年頭のご挨拶にさせていただきます。

なお、公職選挙法により年賀状は自粛させていただきました。お許し願います。

平成29年1月吉日  
愛知県議会議員

園山 康男

多くの方のご支援・ご協力とともに活動しています。

## そのやま康男の奮闘日記



10月26日

### 山林経営の県外調査

奈良県桜井市、西垣林業(株) 桜井本社にてスギ・ヒノキ等の山林経営をとりまく現状・課題や本県豊田市における製材工場の説明と国産材の加工・流通施設の現地調査を行いました。



10月27日

### 農業の産学連携を県外調査

奈良県奈良市、近畿大学農学部(奈良キャンパス)にて、農業分野における産学連携による研究開発の取り組みについて調査を行いました。



10月30日

### 第2回 森の休日学校

NPO法人インディアンサマー主催「森の休日学校」が開催されました。健常児と障がい児が一緒になって、自然の中で学びました。音楽トランポリン、ミニミュージアム、読み語り、動物ふれあいとあっという間に時間が過ぎてゆきました。



11月10日

### 岡崎工業高校にて県内調査

県議会、人づくり・福祉対策特別委員会の皆さんが、岡崎工業高等学校に県内調査にいらっしやいました。地元選出議員として出席し、挨拶をいたしました。



11月13日

### ぬかたふるさとまつり

ぬかたふるさとまつりが快晴の天候の下、開催されました。お約束の観光大使おかげさまでパチリ!



11月13日  
県庁公開

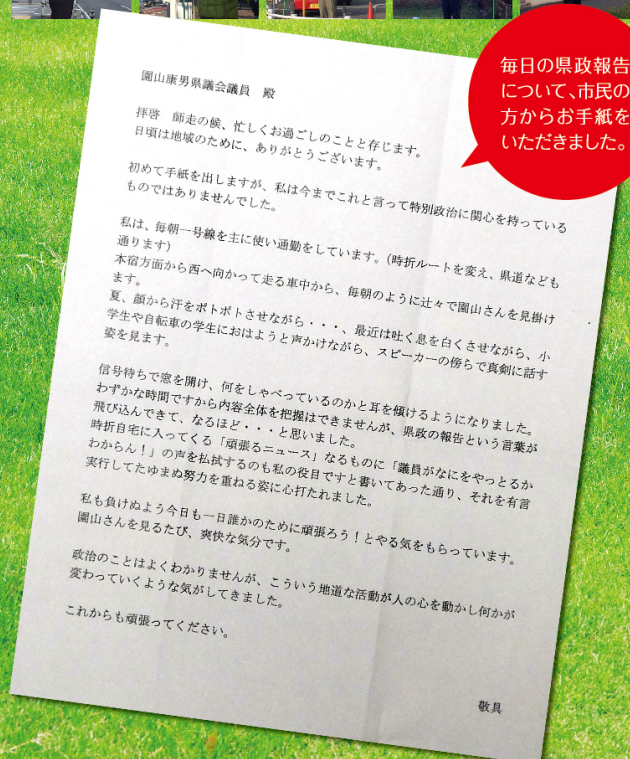
愛知県観光PRキャラクター「ひでっち」と。

## 仕事の見える議員をめざして、日々努力!

「議員は何やとるか分からん!」の声を払拭することは、大切な使命です



毎日の県政報告について、市民の方からお手紙をいただきました。



園山康男県議会議員 殿

拝啓 節々の候、忙しくお過ごしのことと存じます。日頃は地域のために、ありがとうございます。

初めて手紙を出しますが、私は今までこれと言って特別政治に関心を持っているものではありませんでした。

私は、毎朝一号线を主に使い通勤をしています。(時折ルートを変え、県道なども通ります) 本宿方面から西へ向かって走る車中から、毎朝のように辻々で園山さんを見掛け夏、顔から汗をポトポトさせながら、最近吐く息を白くさせながら、小学生や自転車の学生におはようとお声かけながら、スピーカーの傍らで真剣に話を聞きます。

信号待ちで窓を開け、何をしゃべっているのかと耳を傾けるようになりました。飛び込んで、なるほど...と思いましたが、県政の報告という言葉がわからん!」の声を私試するの私の役目ですと書いてあった通り、それを有言実行してためめ努力を重ねる姿に心打たれました。

私も負けぬよう今日一日誰かのために頑張ろう!とやる気ももらっています。園山さんを見るたび、爽快な気分です。

政治のことはよくわかりませんが、こういう地道な活動が人の心を動かし何かが変わっていくような気がしてきました。

これからも頑張ってください。

敬具



# 農林水産委員会(平成28年12月9日)質疑記録 「農福連携」の現在とこれから



## ● 園山康男委員

本会議の一般質問で、耕作放棄地の問題と対策について答弁があったが、その対策の一つとして「農福連携」について伺う。

障害者が農業の担い手となる「農福連携」が広まりつつある。農林水産省や厚生労働省、地方自治体が旗振り役となり、主に知的・精神障害者を対象に、高齢化・担い手不足に悩む農業に参加してもらう取組である。また、障害者の就業機会を農業分野で増やし、自立を手助けするのも狙いである。

障害者施設で行われている農業は、作業の下請けという形態が多かったが、今は単なる農業ではなく加工や販売も入ってくる。土地や地産地消の商品などは地域活性化につながり、作業収入が上がったり、農業に雇用されればさらに良いことだと考える。

そこで、全国ではどのくらい「農福連携」が進んでいるか、また本県の状況はどうか。

## ● 農業経営課主幹

全国状況については、特定非営利活動法人の日本セルフセンターが、全国の社会福祉法人等に対して実施したアンケート調査によると、社会福祉法人等の農業分野への進出は、増加傾向にあり、近年では、家庭菜園的なものも含めて、社会福祉法人の1/3が農業活動に取り組んでいる状況にある。

県内においては、社会福祉法人が農福連携に取り組んでいる主な事例として、耕作放棄地で稲作の自然栽培等に取り組む事例や、障害者の自立を目指してワイナリーを開設している事例等を把握している。

また、農業者が障害者を雇用している事例としては、本年1月の調査では、種まきや草刈り、収穫や出荷などの作

業に、障害者を雇用している農業者が6件あった。

## ● 園山康男委員

農業と福祉が出会う場としての相談窓口はあるのか、また、どのような支援策を行っているのか。

## ● 農業経営課主幹

農業者の障害者雇用や、社会福祉法人やNPO法人が農業を行いたいという個別の相談に対しては、当課ならびに県内8カ所の農業改良普及課に設置した農起業支援センターが対応している。

農起業支援センターを設置した平成24年以降、社会福祉事務所等からの相談が11件あり、うち3件が農業参入した。

こうした相談にしっかり対応できるよう、県内外で開催されている農福連携に関する会議等に参加するとともに、農家と就労を希望する障害者との仲介役となり、作業環境整備を支援する「農園芸ジョブトレーナー」の研修に参加するなど、相談機能の充実にも努めている。

また、農福連携は、農業・福祉・就業の各分野に関わるため、関係部局担当課との打合せの場を設け、情報共有と連携強化を図っている。

## ● 園山康男委員

まだ広く認知されていないと感じるが、障害者施設やNPO法人に対して、先進事例などの情報発信、情報交換などの取組はどのようになっているか。

## ● 農業経営課主幹

社会福祉法人やNPO法人、農業関係者、そして県の関

係部局等で構成される「東海地域の農業分野における障がい者就労促進ネットワーク」が東海農政局に設置されており、このネットワークにおいて、情報発信等が行われている。

このネットワークでは、来年2月に、愛知県内で「農業分野障がい者就労現地視察会」を計画しており、本県としては、視察先となる障害者雇用に取り組んでいる農業者の選定などの支援を行っている。

また、社会福祉法人等に対象に、健康福祉部が開催した「あいち農福連携基礎研修」などに参加し、情報収集に努め、農業改良普及課をはじめ県の関係機関に周知している。

今後とも、様々な機会を捉えて、農福連携の先進事例の紹介や、関係機関・団体との情報交換などに積極的に取り組んでまいりたい。

## ● 園山康男委員

障害者就労と農業のマッチングは、内にこもりがちな障害者が、外に出て汗を流す農業の現場において、その仕事ぶりが外から見えることから、地域の人とふれあい、社会とつながる機会が確実に増える。

農業経営も障害者もそれぞれ自立できれば、地域経済の担い手が増えることも望める。

耕作放棄地対策の一環として、積極的に推進されたい。

# そのやま康男の奮闘日記



## こうた産業まつり

こうた産業まつりに駆けつけました。こも天気がよく大盛況です。皆さんの笑顔は地域の宝です!



## 自動車関連工場 県内調査

アイシン・エイ・ダブリュ(株)岡崎東工場にて、工場調査と自動車運転の取組について調査を行いました。先日の愛知県自動車行実証プロジェクトで、福祉の村から青い鳥医療療育センターまでの区間の自動運転に取り組みました。どんどんと新技術で自動運転が加速していくものと感じます。



## もりの学舎 県内調査

長久手市「もりの学舎(まなびや)」にて、インタープリターによる自然体験プログラムの取組について調査しました。インタープリターとは、自然の翻訳者で、自然が発するメッセージを伝える森の案内人です。

## ノーマライゼーションとは?

ノーマライゼーション・フェスタ・岡崎に参加。ノーマライゼーションとは、障がい者と健常者が、特別に区別されることなく社会生活を共にするのが正常なことであり、本来の望ましい姿であるという考えです。スタッフの皆さんの思いが届くといいですね!



## 結果発表

# 親睦グラウンドゴルフ大会 第3回 園山杯

10月28日 幸田町大日陸グラウンドゴルフ場

第3回園山杯グラウンドゴルフ大会を開催したところ、480名という大勢の皆様にご参加いただき盛り上げていただきました。激戦の中、見事優勝されたのは次の方々です。おめでとうございます!



## 総合優勝 男子 河合 繁さん | 女子 井手フミ子さん



## 農業総合試験場東三河農業研究所 県内調査(豊橋市)

東三河農業研究所では、日本一のキウ産地を支える品種の開発として、かがり弁(先端に小さなフリル状の突起がついた珍しい形状の花弁)タイプの研究に取り組んでいるとのこと。また、本県のでん茶(抹茶の原料)の生産量は全国2位。その生産を支えるため点滴施肥技術、レインガン散水害虫防除技術などを開発しています。

## 東ブロック

名前	団体名	スコア
男子の部優勝 河合 繁さん	豊富支部	29
女子の部優勝 国安京子さん	平地東	26

## 中ブロック

名前	団体名	スコア
男子の部優勝 斉藤昌史さん	土井親成	32
女子の部優勝 酒井幸子さん	松橋支部	31

## 西ブロック

名前	団体名	スコア
男子の部優勝 杉浦 實さん	土井親成	34
女子の部優勝 井手フミ子さん	幸田清春会	26